



松原再生シンポジウム 「松原再生と地場産業の将来を考える」

当センターの取り組んでいる『日本の松原再生運動』は、松原の有する環境・観光・健康資源という3つの価値を再認識し、これらの資源価値を發揮しながら、もう一度地域の人たちが松原へ足を運ぶ、人と松原の関係を再生することにある。松原の再生は、森林病虫害防除、防潮・防風林造成など自然科学の分野から、日本の原風景、森林文化など人文科学の観点から、様々なアプローチがなされてきた。今日、人と松原の関係を持続的に高めていくためには、松原の再生が何らかの地場産業の育成を促し、地域の活力を高める核としての役割を發揮させる社会科学からの視点が必要である。



このシンポジウムでは、松原再生と地場産業の結びつき、産業育成・振興の可能性について考える。

日時 平成22年2月4日(木) 13:00～16:30
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟416
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL(03)3467-7201(代)
<http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html>

内容

13:00	開会の辞 (12時受付開始) 主催者挨拶 (財団法人日本緑化センター常務理事)
13:10～13:40	①松原と地場産業の将来を考える 近田 文弘氏(国立科学博物館名誉研究員)
13:40～14:10	②松原と砂丘地農業 竹内 芳親氏(鳥取大学名誉教授)
14:10～14:40	③松原と木質バイオマス利用 熊崎 実氏(筑波大学名誉教授) (休憩10分)
14:50～15:20	④松原でのエコツーリズムの可能性ー山形県飛島の松原再生に向けて 林田 光祐氏(山形大学農学部教授)
15:20～15:50	⑤松原と健康産業 宮下 充正氏((社)日本ウオーキング協会名誉会長)
15:50～16:20	全体討論 進行 近田 文弘氏
16:20	閉会の辞
主催	財団法人日本緑化センター
協賛	社団法人国土緑化推進機構
後援	林野庁、全国森林組合連合会、日本海岸林学会、社団法人ゴルファーの緑化促進協力会、一般社団法人日本樹木医会、松保護士会
参加費	無料
定員	100名

※このシンポジウムは「三井物産環境基金」、(社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」の助成を受けて実施しています。

松原再生シンポジウム (H22. 2. 4)

参加申込書

所属名(会社名) 所属部・課	ふりがな 氏 名	連絡先 (FAX番号 or 電子メールアドレス or ご住所等)

<参加申込要領>

○ 入場無料

- お申込方法：FAX、E-mail、又は郵送で事務局へお願いします。
- 参加登録者には、申込締切後、登録票を送付しますので、**必ず**連絡先(FAX番号 or 電子メールアドレス or ご住所等)をご記入下さい。

事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2F
財団法人 日本緑化センター シンポジウム係
TEL 03-3585-3561
FAX 03-3582-7714
Email [khou@jpgreen.or.jp](mailto:kohou@jpgreen.or.jp)